

H28年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート

1 評価対象施設の概要

施設名称	やまびこホール				
所在地	奈良県生駒市藤尾町300番地				
指定管理者名	やまびこホール管理組合	指定期間	開始日	平成 28 年 4 月 1 日	
利用料金制適用区分	不適用		終了日	平成 33 年 3 月 31 日	
選定方法	指名	評価実施年	指定期間 5 年のうち 1 年目		
設置目的	生涯学習施設として、市民の芸術文化学習の拠点となり、市民相互の連帯感、ふれあい豊かな地域社会の育成に寄与するため。				
主な実施事業等	施設の維持管理業務、運営業務				

2 利用実績

利用区分等	単位	予定(計画・目標)	利用実績	対前年度比	増減の理由等
利用件数	件		100	3件減	
利用人数	人		1,920	629人増	選挙投票所となったため増加した。
利用料金	円		36,200	1,640円増	

3 事業収支

		事業計画	事業報告(実績)	(参考)前年度実績
収入計	A	462,856	462,856	462,857
指定管理料		462,856	462,856	462,857
利用料金収入	C	0	0	0
自主事業収入		0	0	0
その他		0	0	0
支出計	B	462,856	462,856	462,857
指定事業費		462,856	462,856	462,857
うち人件費	D	0	438,130	419,000
うち再委託料	E	0	0	0
自主事業費		0	0	0
事業収支	A-B	0	0	0
利用料金比率	C/A	0	0	0
人件費比率	D/B	0	0.946579498	0.905247193
再委託費比率	E/B	0	0	0
補足説明(必要に応じて記入)				

※人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

4 利用者の意見把握状況

利用者の意見把握の実施の有無	有	実施方法	利用者アンケート・意見箱の設置 (その他(聞き取り))
実施結果	意見内容等		対応実績等
	利用者からは満足している、とされています。		

5 管理運営状況評価

施設の設置目的の達成（有効性）	
施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）	
指定管理者による自己評価	適正である。
市の評価	貸し館管理は指定管理者である地元自治会長が行い、館の日常的な清掃等は地元自治会内で手分けし、草刈・除草剤散布、竹林管理（竹の子折り）、側溝・雨樋の清掃等も必要に応じて実施されています。
市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等）	
指定管理者による自己評価	適正である。
市の評価	地元住民の利用が中心ですが、1件ごとに申請内容審査のうえ許可書を交付、適切に公平な利用管理をされています。
利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）	
指定管理者による自己評価	満足されている。
市の評価	地元の団体の幾つかは繰り返し利用されていますが、特に苦情もなく満足いただいているようです。地区外の利用は、スカイウォーク等の市の行事や学校の遠足時のトイレ休憩が主ですが、こちらも特に利用者からの苦情はありません。
経費の縮減等の効果（効率性）	
経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	予算内で管理しています。
市の評価	地元住民の協力により予算内で執行いただいています。
収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	予算内で管理しています。
市の評価	地元住民の利用及び市主催行事での利用が主となるため、大幅な利用増・収入増は難しいと考えます。今後も指定管理者から自治会内に利用促進を働きかけていただきます。
適正な施設の管理運営（適正性）	
施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）	
指定管理者による自己評価	適正である。
市の評価	地元の複数の自治会長が管理組合を編成し、毎年交代で指定管理業務を履行してくださっています。例年、引継ぎを徹底され、業務に支障のないよう管理していただいています。
自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等）	
指定管理者による自己評価	外のトイレを学校やハイキング等の方に開放しています。
市の評価	清掃等の管理が行き届いた状態で近隣を訪れたハイカーや、スカイウォーク、学校の遠足等にトイレを利用してもらうことは、周辺に他の施設がないこともあり、利便性の向上、観光客へのイメージアップにつながるものと考えます。
安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）	
指定管理者による自己評価	適正である。
市の評価	申請書等、個人情報は指定管理者の手元で管理されています。館の管理上で事故対策・災害対策が検討される場合は、地元自治会での協議と市への協議を速やかに行っていただきます。（貸館中の危機管理については鍵管理のみなので除外。）

サービスの安定的な提供（安定性）	
事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等）	指定管理者による自己評価 厳しい所がありますが、工夫いたしました。
	市の評価 地元自治会・地元住民の利用が中心で、自主事業等の実施はない状況です。主として自治会内で維持管理業務を履行しているため、将来的に負担の大きな維持管理項目については見直し・検討を行う必要があります。

6 指定管理者の財務の状況

	平成	年度	平成	年度	平成	年度
資産						
流動資産						
固定資産						
負債						
流動負債						
固定負債						
資本						
資本金						
売上高						
経常利益						

7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

	平成	年度	平成	年度	平成	年度
自己資本比率 資本/資産×100						
負債比率 (流動負債+固定負債)/資本×100						
固定比率 固定資産/資本×100						
流動比率 流動資産/流動負債×100						
固定長期適合率 固定資産/(資本+固定負債)×100						
総資産回転率 売上高/資産×100						
総資産経常利益率 経常利益/資産×100						

8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価 別に問題もなく、1年間終了いたしました。
市の評価 実質、地元自治会内で維持管理業務を担っているため、竹林管理や広範囲の除草等は負担が大きく、今後も適正な維持管理を継続するために負担の大きな項目については見直し・検討を行う必要があります。